

平成29年度五條市立野原中学校 家庭科シラバス

3年間のねらい、学習目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

< 第1学年 >

学習到達目標

- 幼児の成長や家族・家庭に関する学習を進める中で、人間が心身ともに成長し、家族の一員としての役割を果たすことの意義や周囲の人々との人間関係の大切さなどを理解し、よりよい生活を主体的に工夫できる能力と態度を育てる。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学期	A 家族・家庭と子どもの成長 (1)わたしの成長と家族 (2)わたしたちの家族・家庭と地域 (3)幼児の生活と遊び	・自分の成長と家族や家庭生活のかかわりについて考える。 ・家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 ・幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。	家庭・家族と子どもの成長についての知識と技能
2 学期	(4)幼児とのふれあい (5)これからのわたしと家族 C 衣生活・住生活と自立 (3)生活を豊かにする物をつくる	・幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること。 ・これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。	家庭・家族と子どもの成長についての知識と技能 作品の製作
3 学期	B 食生活と自立 (2)日常食の献立と食品の選び方	・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概要について知ること。	食生活と自立についての理解

< 第2学年 >

学習到達目標

- 中学生に必要な栄養のとり方や献立の作成、調理や食文化などに関する学習を通して、食生活の自立に向けた基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、食生活を主体的に営む能力と態度を育てる。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学期	B 食生活と自立 (1)健康と食生活 (2)食品の選択と保存	・自分の食生活に関心をもち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考えること。 ・食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること。	食生活と自立についての理解
2 学期	C 衣生活・住生活と自立 (3)生活を豊かにする物をつくる (1)自分らしく着る・快適に着る	・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。 ・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。	衣生活・住生活と自立についての評価 作品の製作
3 学期	B 食生活と自立 (4)地域の食材と食文化	・地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解すること。 ・食生活に関心をもち、課題をもって日常食、又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できること。	地域の食材と食文化への知識と理解

< 第3学年 >

学習到達目標

- 衣生活と住生活を人間を取り巻く環境としての視点から取り上げ、衣服の選択と手入れ、住居の機能と住まい方などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、布を用いた物の製作などを通して生活を豊かにしようと工夫する能力を育てる。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学期	C 衣生活・住生活と自立 (2) 快適に住まう	・ 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。 ・ 家族の安全を考えた室内空間の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。	住居についての知識・理解
2 学期	C 衣生活・住生活の自立 (3) 生活を豊かにする物をつくる	・ 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。	作品の製作
3 学期	D 身近な消費生活と環境	・ 自分の家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。	身近な消費生活と環境についての理解